

第3回日本放射線事故・災害医学会
テーマ：多機関連携のあり方を模索する

開催日：8月29日（土） 場所：福島県立医科大学講堂
会長：田勢長一郎 福島県立医科大学救急医療学講座
学会事務局：福島県立医科大学救急医療学講座
960-1295 福島市光が丘1 TEL:024-547-1581 FAX:024-547-3399

学会参加費： 会員 2000円 非会員 3000円

内容

8月28日（金）

- ・全体訓練（福島第一原子力発電所近辺）
- ・理事会
場所：ホテル辰巳屋 時間：15:00-17:00
- ・懇親会
場所：ホテル辰巳屋 時間：17:30- 別途懇親会費：3000円

8月29日（土） 受付開始：8:30

場所：福島県立医科大学講堂
09:50-10:00：開会の辞 田勢長一郎

10:00-10:30：教育講演Ⅰ

『あらたな被ばく医療体制の構築(仮)』

演者：広島大学原爆放射線医科学研究所 神谷 研二
座長：東北大学 災害科学国際研究所 災害放射線医学分野 細井 義夫

10:30-11:00：教育講演Ⅱ

『福島県における県民健康調査とその周辺(仮)』

演者：福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 大津留 晶
座長：福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター 谷川 攻一

11:00-12:00：特別講演

『国際機関に於ける福島第一原子力発電所事故の健康リスク評価』

演者：国際医療福祉大学クリニック 鈴木 元
座長：福島県立医科大学救急医療学講座 田勢長一郎

12:15-13:00：教育セミナー

『科学者 野口英世』

演者：公益財団法人野口英世記念会 副館長 竹田 美文
座長：福島県立医科大学 副学長 大戸 斉

13:10-14:00：総会（約45分）

- ①会計報告
- ②役員選挙の管理、開票について
- ③次次期大会長（2017年）

14:00-16:30：シンポジウム

『今後の放射線事故・災害対応—多機関連携のあり方—』

座長：ツル虎の門外科リハビリテーション病院
北里大学医学部救命救急医学

前川 和彦
浅利 靖

SP-1 教育に関して

原子力安全研究協会 放射線災害医療研究所

山本 尚幸

SP-2 初期被ばく医療機関として

市立八幡浜総合病院麻酔科・救急部

越智 元郎

SP-3 2次被ばく医療機関として

福井大学大学院地域医療高度化教育研究センター

小淵 岳恒

SP-4 緊急被ばく医療支援チーム

杏林大学医学部救急医学

山口 芳裕

SP-5 今後の放射線事故・災害対応—多機関連携のあり方—

福島県危機管理部災害対策課 防災専門監

渡邊 勲

SP-6 3次被ばく医療機関

放射線医学総合研究所

明石 真言

SP-7 厚生労働省

厚生労働省安全衛生部 電離放射線労働者健康対策室

安井省

侍郎

16:30-16:40：理事選挙結果報告

閉会の辞